

## 答のない世界に答を探しに行こう！

### ＜全校朝会（R5.11.6）校長講話＞

古代哲学者に数学者が多かったように、数学の世界は、人間社会の真理に直結しています。私こう見えても、数学教師です。

いろいろな角度や視点から  
「人やものごとを見られる」  
人間をめざして！

令和5年11月6日(月)  
全校朝会

【公立高校入学試験 数学第1問目】

$$7 \times 2 - 9$$

令和2年度

$$6 - 13$$

令和3年度

$$2 - 11 + 5$$

令和4年度

$$7 - (-3) - 3$$

令和5年度

＜令和2年度＞

$$\begin{aligned} & 7 \times 2 - 9 \\ = & 14 - 9 \\ = & 5 \end{aligned}$$

＜令和3年度＞

$$\begin{aligned} & 6 - 13 \\ = & -7 \end{aligned}$$

大切なのは・・・  
答がいくつかよりもなぜそうなるのかを説明できること！  
つまり、原理・原則が大切

＜令和4年度＞

$$\begin{aligned} & 2 - 11 + 5 \\ = & -9 + 5 \\ = & -4 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & 2 - 11 + 5 \\ = & \overbrace{7 - 11} \\ = & -4 \end{aligned}$$

大切なのは・・・  
ルールに従って、一つの方法だけでなく、  
いろいろな見方・考え方で問題を解決できること！

＜令和5年度＞

$$\begin{aligned} & 7 - (-3) - 3 \\ = & 7 + 3 - 3 \\ = & 10 - 3 \\ = & 7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & 7 - (-3) - 3 \\ = & 7 + \cancel{3} - 3 \\ = & 7 \end{aligned}$$

大切なのは・・・  
場合によっては、最善な方策を見つけて  
問題を解決できること！

今日の問題

- ①  $0 \div 1 = ?$
- ②  $0 \div 0 = ?$
- ③  $1 \div 0 = ?$

①の答えは？

$$6 \div 2 = 3$$

6÷2を考えるには  
2にいくつをかければ  
6になるかを考える。

$$0 \div 1 = 0$$

③の答えは？

$$1 \div 0 =$$

- ・ 0に何をかけても1にはならない。
- ・ そんな数は存在しない

不能

②の答えは？

$$0 \div 0 =$$

- ・ 0にどんな数をかけても0になる
- ・ すべての数

不定

今日の問題

①  $0 \div 1 = 0$

②  $0 \div 0 =$  不定

③  $1 \div 0 =$  不能

大切なのは・・・

見ただけで判断しないこと。簡単そうに思えてもよく考えなければ解決できない問題だって存在する！

みんなに伝えいこと①

数学の世界はもちろん、みんなの生きる世界では、**答えが一つであるとは限らない。答えがない場合だってある。**

むしろ、そういう場合の方が多い。

みんなに伝えいこと②

**ものごとや人間を、見かけだけで判断してはいけない**

**ものごとや人間の、本質・本当の姿を、様々な角度や視点から理解することが大切**

みんなに伝えいこと③

**ものごとや人間を、いろいろな角度や視点から理解することが大切**

人との関わりを避けることなく、**公正・公平な眼で、相手のことを尊重しながら、だれとでも平等に接することができるようにする**

今日のまとめ

私たちは、**答えが一つしかない世界に生きているわけではない**

**ものごとや人間を、見かけだけで判断してはいけない**

**ものごとや人間の**本質・本当の姿**を、**様々な角度や視点から理解することが大切****

**人との関わりを避けることなく、**公正・公平な眼で、相手のことを尊重しながら、だれとでも平等に接することができるようにする****

**「いじめ」や「いさかい」のない学校**

**だれもが幸せを実感できる学校**